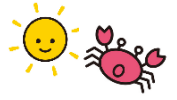


■ 扇風機・エアコンからの火事を予防しましょう



いよいよ夏到来！ということで、まもなく扇風機・エアコンが欠かせない季節がやってきます。ところで、扇風機・エアコンから出火する事例が数多くあることをみなさんにご存知でしょうか？過去の火災事例を確認して火災を起こさないように注意しましょう！



扇風機からの出火

🔥火災事例1

長期使用（10年以上）によりコンデンサーが絶縁劣化を起こし、温度が異常に上昇したため、コンデンサーから可燃性ガスが発生し発火した。

🔥火災事例2

長期使用により、モーター軸受部の潤滑油が消耗して、モーターが回転できなくなったため、モーターのコイルが過熱してショートし発火した。

🔥火災事例3

長期使用により、内部配線が首振り機能などで繰り返し折り曲げられることで断線し、スパークが発生し発火した。

● 扇風機から煙が出たり発火したりする火災事例は毎年のように発生しています。なかには、住宅が全焼する火災や死者が発生した火災もありますので、使用する際は注意が必要です。

製造から長期間経過した扇風機においては、異常が見られなくても、使用を中止するか、使用しないときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、次のような不具合がある場合には使用しないでください。

- ◆スイッチを入れても羽根が回転しない。
- ◆モーター部分が異常に熱く、焦げくさいにおいがする。
- ◆羽根の回転が不規則である。
- ◆電源コードに触れると、羽根が回ったり回らなかったりする。
- ◆羽根が回転するときに異常な音や振動がする。
- ◆電源コードが折れ曲がったり、破損していたりする。



エアコンからの出火

🔥火災事例1

電源コードの改造や修理、接続（ねじり接続、延長コードとの接続）により接続部分が接触不良で異常発熱し発火した。

🔥火災事例2

エアコン洗浄により洗浄液が機器内部に侵入してトラッキング現象が発生し、発煙・発火した。

🔥火災事例3

機器内部に小動物等が侵入し、基板に接触することによってショートし発火した。

● 電源コード類を改造、不適切な修理・加工しないでください。

延長コード、テーブルタップには接続しないでください。エアコンは消費電力が大きいため、延長コード等と接続すると、接続不良やトラッキング現象が生じて発煙・発火するおそれがあります。

エアコン洗浄の際には、ファンモーターなどの電気部品に洗浄液がかからないよう十分にご注意ください。

電源プラグやコードの異常発熱や変色、焦げくさいにおい等、不具合がある場合、すぐに使用を中止して電源プラグを抜いてください。

